

2020年10月27日

関係各位

言語処理学会 渉外担当理事
荒牧英治（奈良先端科学技術大学院大学）
荒瀬由紀（大阪大学）

言語処理学会年次大会へのご支援のお願い

拝啓 秋冷の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃より、言語処理学会の活動に格別のご理解ご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。

当学会は、自然言語処理に関しては日本において最大の集まりであり、年々会員数をのばし、年次大会は毎年たいへん盛況に開催されております。

昨年度につきましては、COVID-19 への対処法の先行きが見通せない状況を受け、現地開催を断念し、プログラムの一部をオンラインで開催いたしました。急遽の決定にもかかわらず、多くのご参加を賜りました。

（昨年度の参加者実数等は、文書末に【資料編】として掲載しましたのでご覧ください）

来年3月の第27回年次大会につきましては、オンラインでの開催を中心とした上で、現地施設「北九州国際会議場」（福岡県北九州市）の活用と遠隔からの参加を両立させる「ハイブリッド開催」を模索していきます。会期は5日間となり、今回も多くの参加者が見込まれます。

参考：言語処理学会ニュースレター Vol. 27 No. 3 (2020年10月15日発行)

「言語処理学会第27回年次大会（NLP2021）について」

<https://www.anlp.jp/guide/news/v27n3/index.html>

年次大会の経費は、基本的には、参加者が納める参加費でまかなわれるべきですが、幅広い研究分野の参加者を集め、より広い範囲の情報交換が実現するように、参加費を抑えたいと考えております。このような事情ですので、年次大会スポンサーとしてご支援をいただければ大変ありがたく存じます。財政的なご支援を賜ることに加え、学会が関連企業や研究機関の皆様と接点を持たせていただくことは、本学会の発展上たいへん重要であると考えております。

本大会では、ご支援の金額に応じ、「プラチナ」「ゴールド」「シルバー」の3つのランクとし、それぞれの特典を設けております（「出版社」スポンサーについては、開催形態を考慮し、今回は募集いたしません）。特典の内容につきましては、下記をご覧ください。

本大会の成功と言語処理学会の発展、ひいては、学術文化の振興のために、ご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

ご支援のお申し込みは、11月12日午前10時から来年3月19日（大会最終日）まで承

ります。(学会の賛助会員の皆様からのお申し込みは 11 月 9 日午前 10 時から開始します)

特典には上限数のあるものや締め切りがあるものもありますので、できましたらお早めのお申し込みをお願い申し上げます。それぞれの特典の詳細は、お申し込み後に改めてご案内いたします。

よろしくご検討くださいますよう、お願い申し上げます。

敬具

記

今大会では、スポンサーのスポンサーとしての活動は、大会参加者全員に届けられるよう、全てオンラインでお願いいたします。大会としても、大会参加者がオンラインでの交流を深められるよう、様々な検討・準備をしております。皆様もスポンサーとして大会を盛り上げていただければ幸いです。

1. 言語処理学会第 27 回年次大会 (NLP2021) 開催案内

・日程: 2021 年 3 月 15 日 (月) ~19 日 (金) ※オンライン開催を中心とする

15 日 (月) チュートリアル, スポンサーイブニング

16 日 (火) 本会議 第 1 日

17 日 (水) 本会議 第 2 日・オンライン懇親会

18 日 (木) 本会議 第 3 日

19 日 (金) ワークショップ

・会場: 北九州国際会議場 (福岡県北九州市) ※JR 小倉駅よりペDESTリアンデッキで直結

・大会委員長: 金山 博 (日本 IBM)

・大会実行委員長: 須藤 克仁 (奈良先端科学技術大学院大学)

・大会プログラム委員長: 鈴木 潤 (東北大学)

2. 「プラチナ」「ゴールド」「シルバー」スポンサーの募集内容

	料金 (税込)	ロゴ (Web のみ)	オンライン 展示	スポンサー賞 (新設)	リツイート	大会参加 (オンライン)
プラチナ	20 万円	大	可能 [*]	可能 [*]	3 回	15 名
ゴールド	10 万円	中	可能 [*]	なし	2 回	7 名
シルバー	5 万円	小	なし	なし	1 回	3 名

[*] オンライン展示ならびにスポンサー賞授与には、追加料金をいただきます (特典の説明文をご覧ください)

※今大会では、開催形態を考慮し、従来参加者全員に配付していたプログラム冊子は作成いたしません。

よって、冊子への広告・ロゴ掲載の特典はありません。また、出版社スポンサーは募集しません。

- ロゴ (Web のみ)

年次大会の Web ページにおいて、ご希望のリンク先へのリンクを張ったロゴを表示します。

※参考までに、ロゴは以下のページのように掲載されます。

<https://www.anlp.jp/nlp2020/#sponsor>

※ロゴとスポンサー名それぞれ別のリンクを張ることも可能です。ロゴからは企業・団体のトップページ、スポンサー名からは年次大会参加者に向けた内容の別のページ、など、ご自由にご活用ください。二つめのリンク先のご指定は、後日でも構いません。

ロゴの大きさはスポンサーの種類によって異なります。同じ種類のスポンサー内での表示の順番は、申し込み順によって決定します。

ロゴのデータは、png ファイルか jpg ファイルをご提出ください。(継続スポンサーで、前回と同じロゴをご希望の場合は、新たにファイルをご提出いただく必要はありません)

大会 Web ページでは、ロゴとスポンサー名を掲載します。ロゴとスポンサー名それぞれ別のリンクを張ることも可能です。スポンサー名は、企業・団体名以外でも構いません。(その場合は文字数が多くなりすぎないようにご注意ください)

スポンサーお申し込み後、ロゴデータをいただき次第、Web ページへの掲載手配をいたします。3月3日(水)までにデータをお送りいただいた場合、大会開始前に Web ページに掲載できます。以降のお申し込みにつきましては、大会期間中・終了後の掲載となる可能性があります。ご了承ください。

- オンライン展示・スポンサーイブニング (オンライン)

年次大会開催中に、オンライン上でブースを設け、展示を行うことができます。

スポンサーごとに、Zoom のミーティングルームを割り当てます。

大会プログラムからリンクさせ、会期中 (休み時間やセッション終了後を含む) に大会参加者が常時アクセスできる形を想定しております。

出展には 5万円 (税込) の追加料金をいただきます。

なお、スポンサーイブニング (オンライン開催) への参加 (登壇) にはオンライン展示ブースの確保が必要です (お申し込みが上限数に達するなどして展示ブースの確保ができない場合、スポンサーとしてのスポンサーイブニングへの参加はできません)。スポンサーイブニングの詳細につきましては「3. スポンサーイブニング (オンライン) の開催」をご覧ください。展示のみを行い、スポンサーイブニングに参加しないことも可能です。

お申し込みの締め切りは 2月26日 (金) です。

出展のご希望が上限数に達した場合、早めに募集を終了します。先着順であることにご注意ください。

- スポンサー賞 (新設)

大会の発表論文に対して、スポンサーが独自に賞を授与することができます。原則として、スポンサー

1 団体が授賞できるのは 1 件です。

スポンサー賞は、たとえば学生に対しては、スポンサーがどんな学生に来てほしいのか表明するいいチャンスでもあり、学生も受賞のチャンスが増えると考えております。

選考にあたっては、スポンサーの意向が大きく反映されます。選定は、スポンサーの選考委員と大会プログラム委員長を加えたメンバーにて構成されるスポンサー賞選考委員会にて行います。賞の名称は「(スポンサー名) 賞」を原則とします。

なお、検討の結果、授賞者該当なしの判断となった、など授賞がない場合でも、料金の返金(お申し込みのキャンセル)はいたしかねます。ご了承ください。

各スポンサーには、選考委員 1 名とプレゼンター 1 名を派遣していただきます。お一人で両方を担当いただいても構いません。

・選考委員会

選考委員会は、すべての発表が終わったあとにオンラインで行います。

賞の選定にあたっては、基本はスポンサーの意向を尊重します。ただし、ひとつの研究グループにスポンサーの授賞希望が集中した場合、選考委員の間で調整をしていただくこととなります。ついては、事前に複数の候補をお考えくださいますようお願いいたします。なお、発表論文予稿集は 3 月 8 日(月)頃に大会参加者(招待者)に公開されます(それ以前に論文をお見せすることはできません)。

・賞の授与

本会議クロージングにて、大会賞の発表前に、スポンサー賞の発表・授与を行います。プレゼンターが選考理由(1分目安)とともに受賞論文を発表します。

表彰状は、年次大会委員長名で作成・手配いたします。受賞者への郵送も大会側で行います。

また、副賞を授与することもできます。オリジナリティあふれる副賞をご用意ください。副賞の手配・郵送等につきましては、スポンサーご自身でご担当ください。なお、受賞者間の公平性という観点から、市場価格 10 万円を超えるような高価な副賞はご遠慮いただくようお願いいたします。ご参考までに、例を以下に示します。

【今後の研究に活用できるもの】ディープラーニングの研究をしている学生などを念頭に、
GPGPU カードなど

【研究室の全員で楽しめるもの】研究室内の交流などに活用できるデバイス(360°カメラなど)

・賞についての表示・広報

スポンサー賞に関する情報は、大会ウェブページに掲載するほか、随時 CFP メールや Twitter で広報いたします。スポンサー賞の趣旨・内容、スポンサー賞授与予定スポンサー名(お申し込み順)、大会後には、スポンサー賞名・受賞論文名・受賞者・授賞理由(お申し込み順)、などを想定しております。

スポンサー賞の授賞には、10 万円(税込)の追加料金をいただきます。

お申し込みの締め切りは 2 月 26 日(金)です。

ご希望が上限数(5 件)に達した場合、その時点で募集を終了します。先着順であることにご注意くださ

い。

- 大会公式 Twitter アカウントによるリツイート

スポンサーから言語処理学会年次大会の参加者向けに発信したい内容を、公式アカウント @NLP2021 がリツイートいたします（本会議の会期中の適当な時間帯に、指定のハッシュタグが付いたツイートのうち、もっとも新しいもの1つをリツイート）。なお、本会議開始前に、スポンサーの情報をリツイートする旨、参加者にも有用なものがある旨を宣言しておきます。

- ・回数

プラチナスポンサー 3回（3月16日～18日の、各日1回）

ゴールドスポンサー 2回

シルバースポンサー 1回

※ゴールド・シルバースポンサーの場合、タグの付いたツイートがある場合にはリツイートし、規定の回数に達した以降はリツイートいたしません。

※例えば、シルバースポンサーが3月17日にのみ配信したい場合は、3月16日配信分の締め切り時刻以前にはタグ付きのツイートをせず、その後3月17日配信分の締め切り時刻までにタグを付けたツイートをしていただければ実現できます。

- 大会参加（オンライン）

ランクごとに決められた人数まで、一般の参加登録なしで、無料で大会にご参加いただけます。オンライン参加ということで、従来の会場での参加の無料分よりも、スポンサーランクごとの人数を増やしました。ぜひご活用ください。

※決められた人数より多く大会に参加（発表・聴講）される方がいる場合、別途参加登録が必要です。

一般の方同様に、参加登録をお願いいたします。

※オンライン展示ブースの担当者としてアクセスするのみで、大会プログラムに参加（発表・聴講）しない方は、参加登録の必要はありません。スポンサーの大会参加招待枠の人数に含める必要もありません。

3. スポンサーイブニング（オンライン）の開催

大会初日（3月15日）のチュートリアルの終了後、「スポンサーイブニング」をオンライン開催いたします。「スポンサー展示のみでは大会参加者、特に学生との交流が難しい」というご意見を受け開催している、スポンサーと大会参加学生との交流イベントです。

今回は、プラチナスポンサー・ゴールドスポンサーとして「オンライン展示（追加料金あり）」を申し込まれた団体のみ、スポンサーイブニングに無料でご参加（登壇）いただけます。お申し込みが上限数に達するなどしてオンライン展示ブースの確保ができない場合、スポンサーとしてのスポンサーイブニングへの参加はできません。

スポンサーの皆様から直接参加者にアピールできる機会としてご活用いただければと存じます。現在、ス

ポンサーイブニングは、以下のような形での実施を予定しています。

*大まかな流れ

- ・ オープニング：会長挨拶，1団体ごとのメッセージトーク
- ・ スポンサーと大会参加者との交流：各オンライン展示ブースにて（自由解散）

スケジュールや、ご発表の持ち時間など、詳細は決定次第お知らせいたします。

4. オンライン企画

上記特典以外に、情報発信や参加者との交流を目的とした企画を行います。ランクにかかわらずご利用いただけます。

- Slack の専用チャンネル作成

前回到引き続き、参加者用 Slack を開設します。その中に、各スポンサーのチャンネルを作成します。自由にご利用ください。

なお、スポンサー以外の一般参加者に企業・団体のチャンネル作成を許可することはありません。

- セッション開始前のスポンサーロゴ表示

年次大会 Web ページのスポンサー一覧と同等のものを、セッション前などに、参加者に向けて表示（画面共有）します。

なお、先に記しましたように、3月17日の本会議終了後にオンライン懇親会を企画しております。こちらは、スポンサー招待の大会参加枠でご参加いただけるよう準備しております。ただし、一般参加者の懇親会参加を優先するため、スポンサー招待枠での懇親会参加数にスポンサーランクごとの上限を設ける可能性があります。詳細は決定次第お知らせいたします。ご了承ください。

5. スポンサーの申し込み方法

申し込みは、下記サイトのフォームに入力して送信してください。

<https://forms.gle/2wbFnUKcZZVf9vVz6>

フォームのご利用が難しい場合は、下記フォーマットの情報を明記の上、nlp2021-sponsor@anlp.jp宛にメールでお申し込みください。

◇ 11月12日（木）午前10時から受付を開始します。

※学会の賛助会員の皆様につきましては、11月9日（月）午前10時から受付を開始いたします。

※受付開始時刻よりも早いお申し込みは受け付けられません。再度の送信をお願いいたします。

※お申し込みを確認次第、担当よりメールをお送りいたします。2営業日以内に担当からの連絡が確認できない場合は、お手数ですがご連絡をお願いいたします。

- ◇ ロゴの掲載順は、ランクごととし、ランク内ではお申し込み順に基づきます。
- ◇ 早めにお申し込みくださいますと、それだけ長い間、大会 Web ページにロゴを掲載することができます。
- ◇ 今後、言語処理学会が主催・共催するイベントの案内等を送付させていただくことがあります。ご了承ください。

<申し込みフォーマット>

ご連絡先メールアドレス：

スポンサー名（Web ページ等に表示する名称）：

請求書宛名（上記と異なる場合）：

請求書送付先（郵便番号から部署名など必要な情報の記載をお願いいたします）：

ご担当者様 お名前：

ご担当者様 ご所属：

ご担当者様 電話番号（急ぎの用件がある場合のみ電話でご連絡いたします）：

【申し込み内容】（いずれかの内容でお申し込みください）

1. プラチナスポンサー 20 万円

→ロゴ（Web のみ）：有／無 （リンク先 URL： _____）

→オンライン展示（先着順）：希望する（5 万円）／希望しない

→スポンサー賞（先着順）：希望する（10 万円）／希望しない

→リツイート（3 回）：希望する／希望しない

→大会参加（オンライン・15 名）：希望する／希望しない

2. ゴールドスポンサー 10 万円

→ロゴ（Web のみ）：有／無 （リンク先 URL： _____）

→オンライン展示（先着順）：希望する（5 万円）／希望しない

→リツイート（2 回）：希望する／希望しない

→大会参加（オンライン・7 名）：希望する／希望しない

3. シルバースポンサー 5 万円

→ロゴ（Web のみ）：有／無 （リンク先 URL： _____）

→リツイート（1 回）：希望する／希望しない

→大会参加（オンライン・3 名）：希望する／希望しない

6. スケジュール

・2020 年 11 月 12 日（木）午前 10 時 応募受付開始

※学会賛助会員は11月9日(木)午前10時に受付を開始

- ・2021年2月26日(金) オンライン展示・スポンサー賞締め切り ※先着順
- ・2021年3月19日(金) スポンサー募集締め切り

7. 代金の支払い方法

大会初日(3月15日)以降,請求書を送付いたします(大会間際のお申し込みの場合は個別に対応いたします)。到着後速やかに,できましたら4月末日までに代金の振込みをお願いいたします。なお,振込手数料は振込人にてご負担ください。

事前支払いをご希望の場合は別途お問い合わせください。

8. 申し込み先・問い合わせ先

ご不明な点や必要な情報がありましたら,お気軽にご連絡ください。

言語処理学会第27回年次大会 スポンサー担当
荒牧英治, 荒瀬由紀, 石川真奈見, 稲益佐知子
Email: nlp2021-sponsor@anlp.jp

以上

【参考】

昨年度開催案内: <https://www.anlp.jp/nlp2020/>

今年度開催案内: <https://www.anlp.jp/nlp2021/>

【資料編】

◆昨年度参加者実数

昨年度は,現地開催を断念し,プログラムの一部をオンラインで開催いたしました。事前申し込み1025名,当日申し込み扱い16名,招待者11名,合計1052名の参加がありました。参加者の内訳は以下の通りです。

- 全参加者(招待者・欠席者含む。オンライン開催での特別招待は含まず) 1052人
- ・会員579人(55%),非会員344人(33%),招待者129人(12%)
- ・学生395人(38%),一般(アカデミア)243人(23%),一般(企業)414人(39%)

[参考]

- ・NLP2020 発表論文数:396件
- ・うち,オンライン会議での発表数:338件
- ・オンライン会議アクセス者数(異なり・推定値):約960人

前々回の名古屋大学での開催時には、1275名の参加でした。急遽のオンライン開催にもかかわらず、多くの方にご参加・ご発表いただきました。

◆昨年度ご支援いただいたスポンサー（全 58 団体）

【プラチナスポンサー】（19・お申し込み順）

株式会社デンソーアイティラボラトリ様、フューチャー株式会社様、
Yahoo! JAPAN 様、Megagon Labs 様、ソフトバンク株式会社様、
株式会社リクルートテクノロジーズ様、株式会社 LegalForce 様、
トランスコスモス株式会社様、株式会社オプト（Opt Technologies）様、
Sansan 株式会社様、株式会社 Gunosy 様、株式会社サイバーエージェント様、
LINE 株式会社様、株式会社高電社様、富士通株式会社様、Google 合同会社様、
バイドゥ株式会社様、楽天株式会社様、ストックマーク株式会社様

【ゴールドスポンサー】（22・お申し込み順）

富士ゼロックス株式会社様、沖電気工業株式会社様、
マイクロソフト ディベロップメント株式会社様、株式会社 NTT ドコモ様、
株式会社 Insight Tech 様、国立国語研究所様、株式会社 EduLab 様、
株式会社東芝様、株式会社 FRONTEO 様、朝日新聞社メディアラボ様、
読売新聞東京本社様、革新知能統合研究センター様、
株式会社ワークスアプリケーションズ様、株式会社 MonotaRO（モノタロウ）様、
株式会社ジャストシステム様、株式会社 pluszero 様、株式会社メルカリ様、
株式会社日本取引所グループ様、株式会社ホットリンク様、株式会社レアジョブ様、
株式会社エクサウィザーズ様、株式会社レトリバ様

【シルバースポンサー】（17・お申し込み順）

ポストエディット東京様、株式会社ピコラボ様、株式会社アドバンスト・メディア様、
株式会社 LIFULL 様、株式会社 Faber Company 様、株式会社アイアール・アルト様、
IBM Research 様、一般財団法人 日本特許情報機構様、株式会社エルデシュ様、
スマートニュース株式会社様、特定非営利活動法人言語資源協会様、
株式会社カクコム様、公益財団法人日本漢字能力検定協会様、
東京海上ホールディングス株式会社様、株式会社 日本システムアプリケーション様、
株式会社ジェーエフピー様、ベイシス・テクノロジー株式会社様

※オンライン開催決定前は 71 団体のお申し込みを頂戴しておりました。あらためて御礼申し上げます。